



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第235号 2021年10月号

SINCE 2002.4.1.



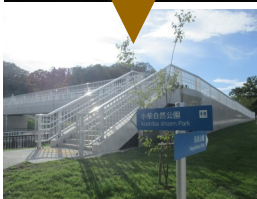
発行日令和3年9月17日  
 発行元有限会社佐野工務店  
 〒237-0068  
 横須賀市追浜本町1-25  
 TEL 046(865)4010  
 FAX 046(865)6139  
<http://www.sano-k.net/>  
 info@sano-k.net

## Enjoy HOME 「小柴自然公園」

小柴貯油施設は旧日本海軍によって燃料貯蔵基地として建設され、戦後は米軍によって航空機燃料を備蓄する施設として使用されてきました。その後、日本に返還され、市民公園として工事が進められていく段階で、土壌汚染や作業の安全性などの幾つかの問題が発生しましたが、このほど、整備の一部が完了しました。



公園予定地の全体の広さは約55ヘクタールで、今回は芝生広場や滑り台などの遊具、トイレがある約1.5ヘクタールがオープンしました。公園全体は3期に分けられ、今回オープンしたエリアを含めた1期区域（約13ヘクタール）は2022年度末に、里山や林などが保全される2期区域（約27ヘクタール）は2026年度末に、大型地下タンク跡がある3期区域（約15ヘクタール）には広場が徐々に整備されていきます。  
 （参考資料「神奈川新聞」「すまい造りメール第79号」）



「並木わくわく橋」は近隣の並木第四小学校の児童によるネーミング



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
 創業 1960.1.20. Next100  
 創刊 2002.4.1.

平成3年の増改築工事以来、住宅設備のメンテナンスをはじめ、内装工事を担当させていただいているお住まいを紹介させていただきます。

今回はキッチンのリフォームです。全体的に白を基調とした清潔感のある空間にということで、床板、キッチンの扉、壁と天井、廻縁をすべて白で統一しました。薄いブラウン色で仕上げた巾木と窓枠がアクセントカラーになっています。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「大変気に入りました。玄関と廊下もこの色合いで模様替えをお願いします」という感想とともに追加のご注文をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



リフォーム中はちょっぴり落ち着きがなかったホビくんも新しい空間が気に入ったようです。



## よこすか文学館

&lt;70&gt;

難病による闘病生活の中珠玉の作品を作り続けた横須賀出身の俳人折笠美秋（おりかさ・びしゅう 1934-1990）の作品を紹介します。

抱き起こされて  
 妻のぬくもり  
 蘭の紅

第十四

折笠美秋

数多くある妻を詠んだ句の一つ。『角川俳句大歳時記』ではこの句が「蘭」の例句として掲出されています。句意は平明で、赤い蘭の飾られた病室で、妻の智津子さんに抱き起されてぬくもりを感じているというもの。「ぬくもり」は、妻と蘭の紅色の両方から感じているようです。ところで、「蘭」は通常の歳時記では秋の季語なのですが、『現代俳句歳時記』（学研）では「秋に開花期を迎えるランは少数派です」として春の季語になっています。



洗足学園中学高等学校  
 教諭 中島正二

# 横須賀製鉄所物語（築地ホテル）〈80〉

江戸の町が外国人に開放（開市）されるようになったのは、1868年1月1日（慶応3年12月7日）のことです。外務省のホームページによりますと、西欧諸国と結んだ修好通商条約により、兵庫、新潟の開港と江戸・大坂に外国人の居留を許可すること（開市）の延期を求めて、1862年竹内下野守以下の使節団がフランスを訪問した後にイギリスに渡りました。イギリスではオールコック大使が帰国してその助言もあり、1863年1月1日から5年間の延長が決められました。この取り決めで取り交わした文書は「ロンドン覚書」と呼ばれています。このように、江戸の町が開かれることになり、イギリス公使ハリー・パークスは徳川幕府に対してホテル建設を強く要請してきました。そこで徳川幕府は、築地舟板町の軍艦操練所跡地（旧築地市場の立体駐車場）のあたりにホテルを建設することにしました。

小栗上野介は「民間でこれを行うものがあれば、土地は幕府が無償で提供し、利益は経営者のものとしてよい」との条件で事業者の選定をすることにしました。これに応じたのが清水組（現在の清水建設）の二代目清水喜助で工事だけでなく、経営も引き受けることになりました。



隅田川に掛かる勝鬨橋

清水建設株式会社が昭和48年に発行した『清水建設百七十年』によりますと、「築地ホテル館は、幕府の外国作事方の設計で慶応3年7月着工、その後10月の幕府の大政奉還、翌4年（1868年）4月の明治新政府軍の江戸入場、更には二代目喜助とともに幕府の依頼を受けて事に当たっていた金主吉池某の離脱等の混乱があった中で、慶応4年8月一か年という短期間でホテルは完成しました。この間、幕府という注文主がなくなり、明治新政府に代わったわけですが、明治新政府も戊辰戦争の後始末や、新政府の基礎づくりで一般市民のことまで手が回りかねたので、ホテルの工事継続とその後の経営についても、清水屋が中心になって行わなければならなかった」と記しています。

ホテルの敷地は、幕府海軍操練所の一画約7,000坪で、現在の勝鬨橋に接して海に面した景観からも最高の場所であったと想像できます。ホテルの規模は、客室102室、木造2階建（一部3階）、延べ床面積1679.7坪、水洗トイレ、シャワー室、ビリヤード室等も完備されていました。このように、洋式建築では国内最大のものであったと言われています。『清水建設百七十年』によりますと、「洋式建築になじまない当時の人々は、このホテルを見て感嘆し錦絵作者は絶好の材料として（ホテル館の図）を描き、全国に知らされていった」と記されています。しかし、1872年（明治5年）銀座の大火により、由緒あるこの建物は、惜しくも焼失してしまいました。

こうした日本近代化の先駆的な事業にも小栗上野介が関係していたことを改めて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。  
（元横須賀市助役 井上吉隆）

## 風速「50m以上」



天気予報に用いる「風の強さ」の指標について、気象庁は最大級の平均風速（毎秒）として「50m以上」を新設します。風の強さは現在7段階に分かれ、「40m以上」を最大としていましたが、最近では、大型台風の襲来が相次ぎ、さらに上の区分を設けて猛烈な風が吹く可能性を伝え、事前に備えてもらう必要があると判断したようです。

強風で飛ばされないように、台風が来る前に、お住まいの外回りを点検してください。

（参考資料「日本経済新聞」）

50m～	<b>猛烈な風</b>	建造物や樹木の損壊大きく（調整中）
40m～	<b>猛烈な風</b>	住家で倒壊するものがある
35m～	<b>猛烈な風</b>	外装材が広範囲にわたって飛散する
30m～	<b>猛烈な風</b>	養生の不十分な仮設足場が崩落する
25m～	<b>非常に強い風</b>	何かにつかまっていなくて立ってられない
20m～	<b>非常に強い風</b>	何かにつかまっていなくて立ってられない
15m～	<b>強い風</b>	看板やトタン板が外れ始める
10m～	<b>やや強い風</b>	風に向かって歩きにくくなる



### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2021」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2021」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索